

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年1月10日

【四半期会計期間】 第17期第2四半期(自平成25年9月1日至平成25年11月30日)

【会社名】 株式会社クリエイトSDホールディングス

【英訳名】 CREATE SD HOLDINGS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 廣瀬泰三

【本店の所在の場所】 横浜市青葉区荏田西二丁目3番地2

【電話番号】 045(914)8241(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 山崎哲也

【最寄りの連絡場所】 横浜市青葉区荏田西二丁目3番地2

【電話番号】 045(914)8241(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 山崎哲也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第16期 第2四半期 連結累計期間		第17期 第2四半期 連結累計期間		第16期	
		自	平成24年6月1日 至 平成24年11月30日	自	平成25年6月1日 至 平成25年11月30日	自	平成24年6月1日 至 平成25年5月31日
売上高	(百万円)		90,461		95,913		181,966
経常利益	(百万円)		5,083		4,677		10,329
四半期(当期)純利益	(百万円)		3,024		2,821		5,965
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)		3,024		2,820		5,967
純資産額	(百万円)		38,257		42,817		40,754
総資産額	(百万円)		70,030		77,796		74,795
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		135.78		126.69		267.85
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		54.6		55.0		54.5
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)		2,832		2,860		8,001
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)		1,907		4,321		3,698
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)		688		774		1,153
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)		16,873		17,550		19,785

回次		第16期 第2四半期 連結会計期間		第17期 第2四半期 連結会計期間	
		自	平成24年9月1日 至 平成24年11月30日	自	平成25年9月1日 至 平成25年11月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		67.65		48.18

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。主要な関係会社の異動についても、異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権による経済政策・金融政策への期待感から景気回復の動きが見られたものの、新興国経済の景気減速や欧州の経済不安の長期化、予定されている消費税増税に対する節約志向などから、景気の先行きは依然不透明なまま推移しております。

ドラッグストア業界におきましては、一部を除く医薬品ネット販売解禁など他業種からの大衆薬販売への参入、競合他社の出店や価格競争の激化などにより、依然厳しい環境がつづいております。

このような状況の中、当社グループは「セルフメディケーションを力強くサポートし、総合的な地域医療に貢献する」企業を目指して、ドラッグストア事業、調剤薬局事業、有料老人ホーム事業及びデイサービス事業を展開しております。また、当第2四半期連結累計期間において、連結子会社株式会社クリエイトエス・ディーが都心型店舗展開の足掛かりとしてドラッグストア、調剤薬局6店舗を運営する株式会社ニュードラッグ（東京都新宿区）を買収いたしました。今後新しい店舗形態に積極的に挑戦してまいります。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業につきましては、接客サービスの更なる充実と薬剤師、登録販売者及び栄養士といった有資格者の配置による相談できる環境の整備により、顧客満足度の向上に継続して取り組んでまいりました。当連結累計期間の売上、客数においては、気温の高低により季節商材が伸び悩んだこと、また、販促を強化した時期が、局部的豪雨や多雨などと重なり影響を受けました。

新規出店につきましては、19店舗の出店を行いました。一方で経営効率化の観点及びスクラップアンドビルドにより2店舗の閉鎖を行いました。

<調剤薬局事業>

調剤薬局事業につきましては、地域に密着したかかりつけ薬局を目指し、ドラッグストアへの併設を中心に処方箋応需枚数の増加を図っております。さらに、老人ホーム等の介護施設や個人宅に処方箋に基づいたお薬をお届けする「訪問服薬指導」は、連携施設数を58施設へ拡大（前期末比13施設増）して実施してまいりました。

新規出店につきましては、調剤専門薬局1店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局9店舗を開設いたしました。

<有料老人ホーム事業>

有料老人ホーム事業につきましては、高齢社会を迎え需要が拡大する一方、入居一時金に関する規制強化、入居一時金なしの老人ホームやサービス付高齢者向け住宅の増加など、その環境は変わりつつあります。これに対し料金体系を柔軟化すると共に、マシントレーニングの実施など健康をサポートするサービスの充実を図っております。

< デイサービス事業 >

デイサービス事業につきましては、要支援・要介護の方の介護予防を目的として、筋力トレーニングや認知症予防トレーニングなどを行う機能訓練型デイサービスセンター「サロンデイ」を多店舗展開しております。

新規出店につきましては、2施設を開設いたしました。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数はドラッグストア事業では402店舗、調剤薬局事業では調剤専門薬局24店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局76店舗の合計100店舗、有料老人ホーム事業では介護付有料老人ホーム2施設、デイサービス事業ではデイサービスセンター32施設となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高95,913百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は4,391百万円（前年同期比10.4%減）、経常利益は4,677百万円（前年同期比8.0%減）、四半期純利益は2,821百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は77,796百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,000百万円増加いたしました。主な要因は、有価証券が4,000百万円減少したものの、現金及び預金が2,765百万円、商品が1,247百万円、新店及び出店準備物件の増加等に伴い有形固定資産が1,552百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は34,978百万円となり、前連結会計年度末に比べて937百万円増加いたしました。主な要因は、未払法人税等が389百万円減少、買掛金が1,032百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は42,817百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,063百万円増加いたしました。主な要因は、配当金757百万円による減少及び四半期純利益2,821百万円を計上したことなどによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は17,550百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,234百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,860百万円（前年同期比28百万円の収入増）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益4,691百万円、減価償却費1,014百万円、法人税等の還付額317百万円、たな卸資産の増加1,151百万円及び法人税等の支払額2,689百万円等の結果であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4,321百万円（前年同期比2,414百万円の支出増）となりました。これは主に出店に伴う有形固定資産の取得による支出2,092百万円及び建設協力金の長期貸付けによる支出256百万円等の結果であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は774百万円（前年同期比85百万円の支出増）となりました。これは長期借入金の返済16百万円及び配当金の支払757百万円の結果であります。

（４）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第２四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（５）研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	88,000,000
計	88,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年1月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,273,114	22,273,114	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	22,273,114	22,273,114		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年9月1日～ 平成25年11月30日		22,273,114		1,000		8,595

(6) 【大株主の状況】

平成25年11月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する 所有株式数 の割合(%)
山本洋平	神奈川県横浜市青葉区	6,178	27.73
山本久雄	神奈川県横浜市青葉区	4,665	20.94
合同会社ACAアセット	東京都千代田区平河町2丁目16-15	2,228	10.00
ビービーエイチフォーフィデ リテイロープライズドストツ クファンド(常任代理人株式 会社三菱東京UFJ銀行)	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582 USA (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	2,227	9.99
山本いつ子	神奈川県横浜市青葉区	1,045	4.69
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	669	3.00
クリエイトエス・ディー従業員 持株会	神奈川県横浜市青葉区荏田西2丁目3-2	440	1.97
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	308	1.38
ビービーエイチフォーフィデ リテイピューリタンフィデリ テイシリーズイントリンシツ クオポチユニティズファンド (常任代理人株式会社三菱東 京UFJ銀行)	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582 USA (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	277	1.24
ステートストリートバンク アンドトラストカンパニー 505224(常任代理人株式会 社みずほ銀行決済営業部)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 USA (東京都中央区月島4丁目16-13)	154	0.69
計		18,194	81.68

(注) 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式数は、
全て信託業務に係るものであります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,271,500	222,715	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,614		同上
発行済株式総数	22,273,114		
総株主の議決権		222,715	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社の保有の自己株式82株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社クリエイトSD ホールディングス	横浜市青葉区荏田西二 丁目3番2				
計					

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年9月1日から平成25年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年6月1日から平成25年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,785	13,550
売掛金	3,604	3,897
有価証券	9,000	5,000
商品	16,174	17,421
その他	5,456	5,601
流動資産合計	45,020	45,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,111	7,936
土地	3,630	3,848
その他(純額)	2,357	2,867
有形固定資産合計	13,099	14,652
無形固定資産		
のれん	5	410
その他	329	296
無形固定資産合計	334	706
投資その他の資産		
長期貸付金	6,644	6,781
敷金及び保証金	6,362	6,736
その他	3,432	3,474
貸倒引当金	97	25
投資その他の資産合計	16,340	16,966
固定資産合計	29,775	32,325
資産合計	74,795	77,796
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,702	24,734
未払法人税等	2,285	1,895
賞与引当金	153	116
役員賞与引当金	110	55
ポイント引当金	1,670	1,685
店舗閉鎖損失引当金	-	5
その他	3,945	4,346
流動負債合計	31,866	32,839
固定負債		
退職給付引当金	337	433
その他	1,837	1,705
固定負債合計	2,174	2,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債合計	34,041	34,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	934	934
利益剰余金	38,812	40,877
自己株式	0	0
株主資本合計	40,747	42,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	5
その他の包括利益累計額合計	6	5
純資産合計	40,754	42,817
負債純資産合計	74,795	77,796

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	90,461	95,913
売上原価	66,532	70,890
売上総利益	23,929	25,022
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	1,220	1,670
給料及び手当	7,083	7,659
賞与引当金繰入額	108	109
役員賞与引当金繰入額	40	55
退職給付費用	104	110
減価償却費	983	997
地代家賃	3,886	4,194
その他	5,598	5,834
販売費及び一般管理費合計	19,026	20,631
営業利益	4,903	4,391
営業外収益		
受取利息	65	66
受取配当金	1	1
貸倒引当金戻入額	-	63
固定資産受贈益	36	61
負ののれん償却額	39	39
その他	41	56
営業外収益合計	184	289
営業外費用		
支払利息	2	2
貸倒引当金繰入額	0	-
支払補償費	-	0
その他	0	0
営業外費用合計	3	3
経常利益	5,083	4,677
特別利益		
固定資産受贈益	-	17
補助金収入	-	7
その他	-	1
特別利益合計	-	26
特別損失		
会員権評価損	9	-
店舗閉鎖損失	6	0
固定資産除却損	0	4
固定資産圧縮損	-	7
その他	0	0
特別損失合計	16	13

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
税金等調整前四半期純利益	5,066	4,691
法人税等	2,042	1,869
少数株主損益調整前四半期純利益	3,024	2,821
四半期純利益	3,024	2,821

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,024	2,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
その他の包括利益合計	0	1
四半期包括利益	3,024	2,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,024	2,820
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,066	4,691
減価償却費	1,016	1,014
負ののれん償却額	39	39
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	63
賞与引当金の増減額(は減少)	19	36
役員賞与引当金の増減額(は減少)	69	55
ポイント引当金の増減額(は減少)	408	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	82	84
受取利息及び受取配当金	66	67
支払利息	2	2
売上債権の増減額(は増加)	49	277
たな卸資産の増減額(は増加)	822	1,151
仕入債務の増減額(は減少)	196	930
その他	121	199
小計	5,683	5,229
利息及び配当金の受取額	6	5
利息の支払額	2	2
法人税等の支払額	3,114	2,689
法人税等の還付額	258	317
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,832	2,860
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,357	2,092
無形固定資産の取得による支出	124	17
長期貸付けによる支出	400	256
長期貸付金の回収による収入	322	339
有価証券の取得による支出	-	1,000
出店仮勘定による支出	306	670
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	555
その他	41	68
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,907	4,321
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	20	16
配当金の支払額	668	757
自己株式の取得による支出	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	688	774
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	237	2,234
現金及び現金同等物の期首残高	16,635	19,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 16,873	¹ 17,550

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において、当社連結子会社の株式会社クリエイトエス・ディーが株式会社ニュードラッグの株式を取得し子会社化したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
税金費用の計算	当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
現金及び預金勘定	12,873百万円	13,550百万円
取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する 譲渡性預金(有価証券)	4,000 "	4,000 "
現金及び現金同等物	16,873百万円	17,550百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月24日 定時株主総会	普通株式	668	30	平成24年5月31日	平成24年8月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年1月7日 取締役会	普通株式	445	20	平成24年11月30日	平成25年2月5日	利益剰余金

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月23日 定時株主総会	普通株式	757	34	平成25年5月31日	平成25年8月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年1月6日 取締役会	普通株式	623	28	平成25年11月30日	平成26年2月5日	利益剰余金

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

当社グループは、ドラッグストア事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

1. 取得による企業結合

株式会社ニュードラッグの株式取得による子会社化

当社連結子会社の株式会社クリエイトエス・ディーは、平成25年9月30日開催の取締役会において、株式会社ニュードラッグの株式を取得することを決議し、平成25年10月15日付で同社子会社としました。

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ニュードラッグ

事業の内容 ドラッグストア、調剤薬局の運営

企業結合を行った主な理由

株式会社ニュードラッグは、東京都内においてドラッグストア・調剤薬局を展開し、創業以来80年、都心で働き、都心に暮らす方々に支持され愛された企業であり、当社グループに迎えることによって、現在積極的に推進している都市部への出店をさらに加速し、シナジーによって企業価値の向上を図ることができると判断し、子会社化いたしました。

企業結合日

平成25年10月15日

企業結合の法的形式

株式取得

取得した議決権比率

100%

取得企業を決定するに至った主な根拠

当社連結子会社の株式会社クリエイトエス・ディーが現金を対価とした株式取得により、株式会社ニュードラッグの議決権の全てを取得したものであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書には、被取得企業の業績は含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

被取得企業の取得原価

187百万円

被取得企業の取得原価の内訳

取得の対価(現金)	150百万円
取得の対価(未払金)	20 "
取得に直接要した費用(アドバイザー費用)	17 "

取得原価 187百万円

取得の対価の未払金については、平成26年10月7日に支払う予定であります。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん
の金額

407百万円

発生原因

当社とのシナジー効果及び今後の事業展開によって期待される将来の超越収益力により発生したものであります。

償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(5) 取得原価の配分

一部の項目について、平成26年2月1日を効力発生日とする株式会社クリエイトエス・ディーとの合併を予定しているため、暫定的な会計処理を行っております。

(6) その他

株式会社クリエイトエス・ディーは、株式会社ニュードラッグの株式を取得するにあたり、同社の借入金の返済等にあてるため、500百万円の金銭消費貸借契約を締結し、実行しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	135円78銭	126円69銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	3,024	2,821
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	3,024	2,821
普通株式の期中平均株式数(株)	22,273,114	22,273,062

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

平成26年1月6日開催の取締役会において、平成25年11月30日の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	623百万円
1株当たりの金額	28円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成26年2月5日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年1月9日

株式会社クリエイトSDホールディングス

取締役会 御中

三優監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 小林 昌 敏 印

業務執行社員 公認会計士 熊 谷 康 司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社クリエイトSDホールディングスの平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年9月1日から平成25年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年6月1日から平成25年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社クリエイトSDホールディングス及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。